

給与明細配信 for 給与奉行
メール送信テストツール手順書

はじめに

●当ツールをセットアップするための必要システム環境

- ・ 画面解像度「1024×768」以上
- ・ A4 サイズを印刷できるプリンタが接続されていること

●その他

- ・ 弊社で動作確認されている SMTP サーバーは、Internet Information Services6.0 がセットアップされたメールサーバーです。
(アクセス制御の認証が、「匿名アクセス(A)」「基本認証(B)」の場合に動作します。)
- ・ 当システムの SMTP 認証方式は、SMTP-AUTH LOGON となります。
(Pop before SMTP には、対応しておりません。)
- ・ 受信側で給与明細 PDF ファイルを参照するには、Adobe AcrobatReader6.0 以上が必要です

給与明細配信では、インターネットの標準形式として規定されている MIME エンコードを行って配信しています。

- ・ 件名は、7ビット JIS コード (ISO-2022-JP) に変換して、MIME の B 規格でエンコードします。
- ・ 本文は、7ビット JIS コード (ISO-2022-JP) に変換して、7bit でエンコードします。
- ・ 添付ファイルは、MIME の base64 でエンコードします。

MIME を実装していない受信メーラーや、base64 でエンコードされていることを想定しない受信メーラーでは、受信できない可能性があります。また、受信できたとしても、文字化けする可能性があります。

当ツールを利用し、給与明細配信で配信予定の全ドメイン名に対して配信テストを行い、問題がないことをご確認の上、ご利用くださる様お願いいたします。

例)

メールを配信する社員が、以下の通りだとします。

10000@aaa.co.jp
10100@aaa.co.jp
10101@bbb.co.jp
10200@bbb.co.jp
10201@ccc.com
10300@ccc.com

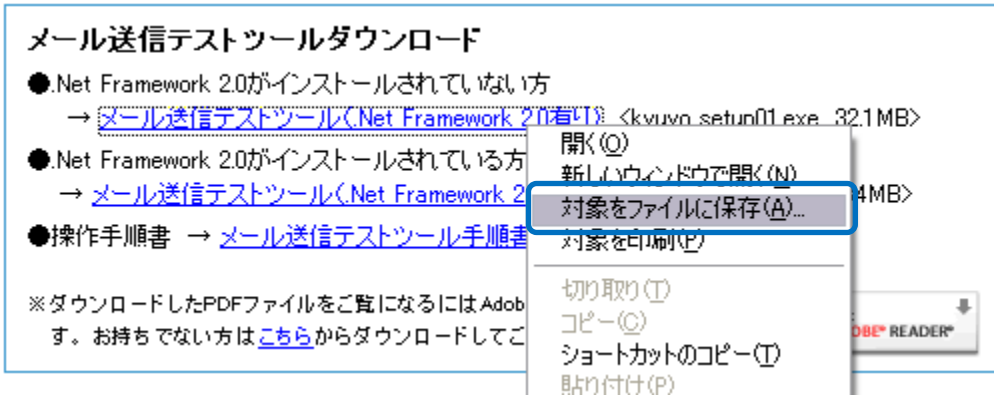
上記の場合、@以降の部分がドメイン名になります。

????@aaa.co.jp
????@bbb.co.jp
????@ccc.com

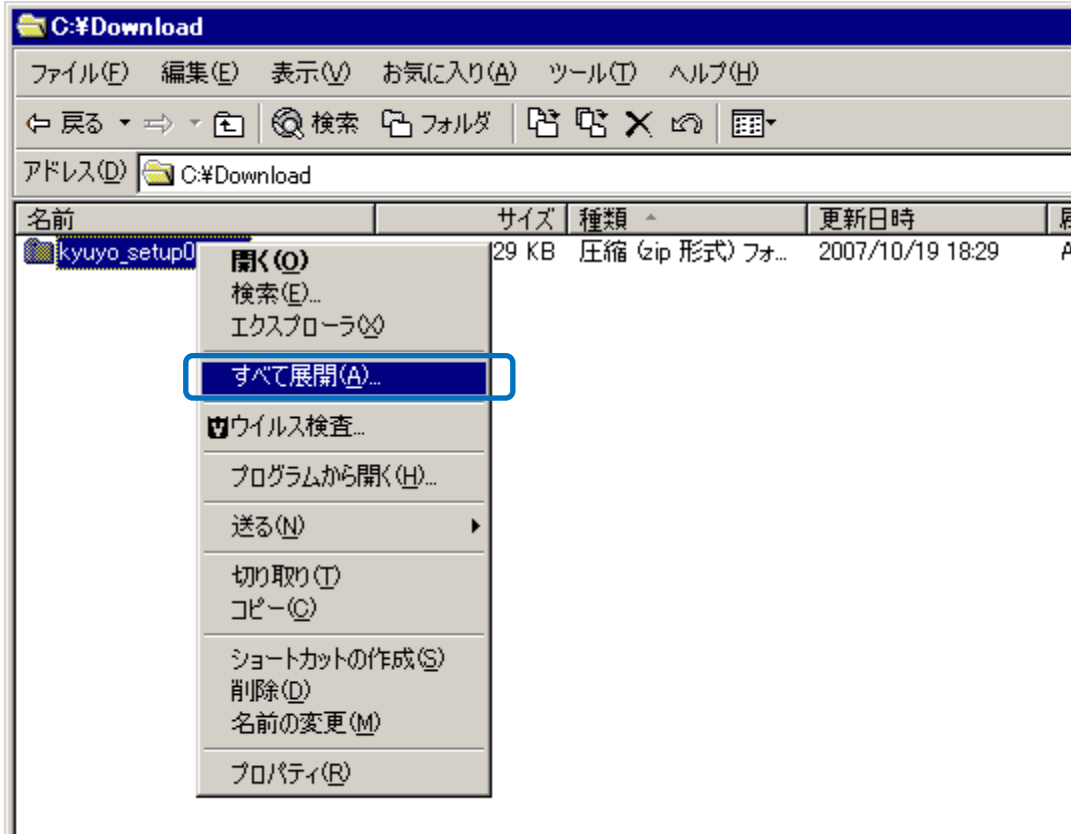
これらに対してテスト送信を行い、問題がないことをご確認ください。

【圧縮された (ZIP) ファイルを展開 (解凍) する方法】

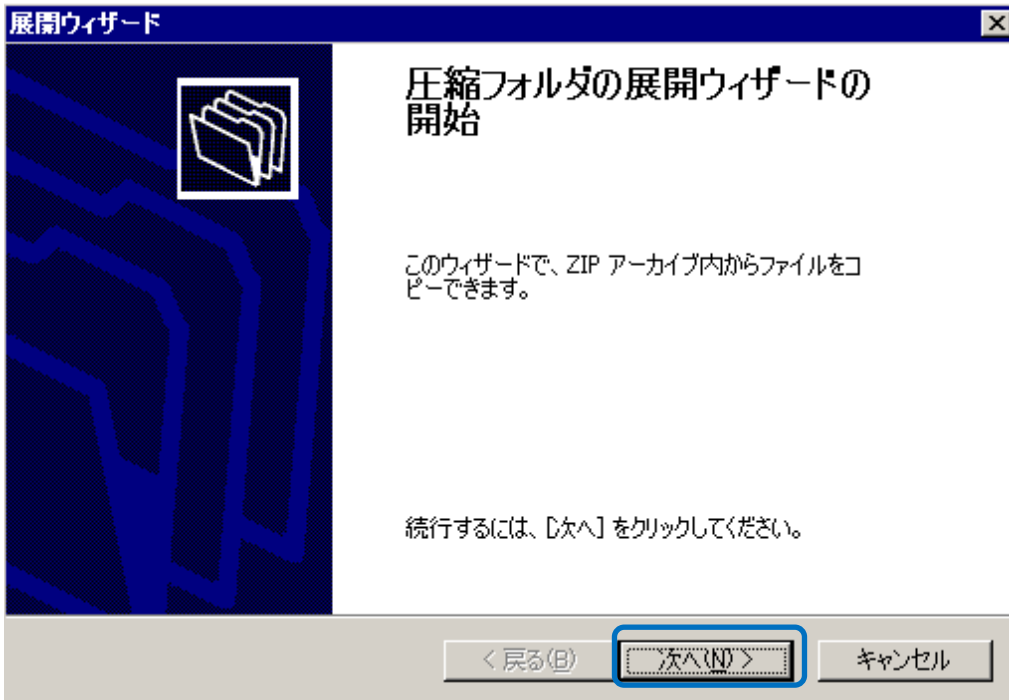
1. Web から zip ファイルをダウンロードします。



2. zip ファイルを右クリックして [すべて展開...] をクリックします。



3. 「展開ウィザード」が起動しますので、ウィザードにしたがって解凍してください。



※詳しくは、以下の URL をご参照ください。

<http://www.microsoft.com/japan/athome/magazine/ucontents/users/tips/windows/054.mspx>

※OS によっては解凍できない場合がございます。その場合は、他の解凍ソフトをご利用ください。

4. 解凍先フォルダ内の[メール送信テストツール手順書.pdf]にしたがって、セットアップしてください。



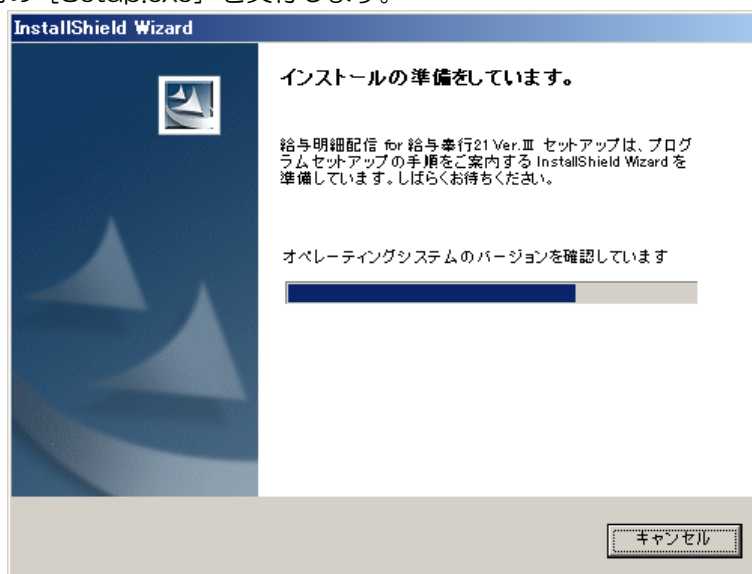
1) セットアップ

【大まかな流れ】

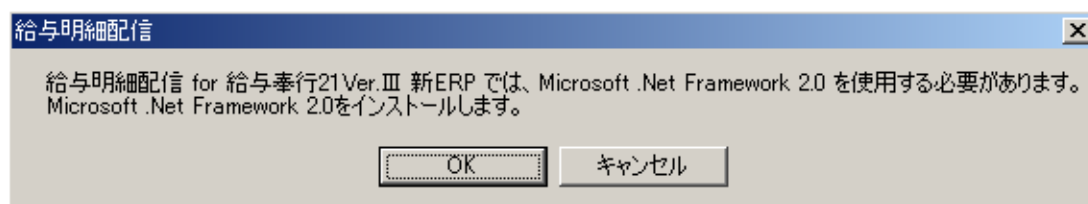
1. .NET Framework 2.0 のセットアップ
2. .NET Framework 日本語 Language Pack のセットアップ
3. メール送信テストツールのセットアップ

【セットアップ方法】

①解凍先フォルダ内の [Setup.exe] を実行します。

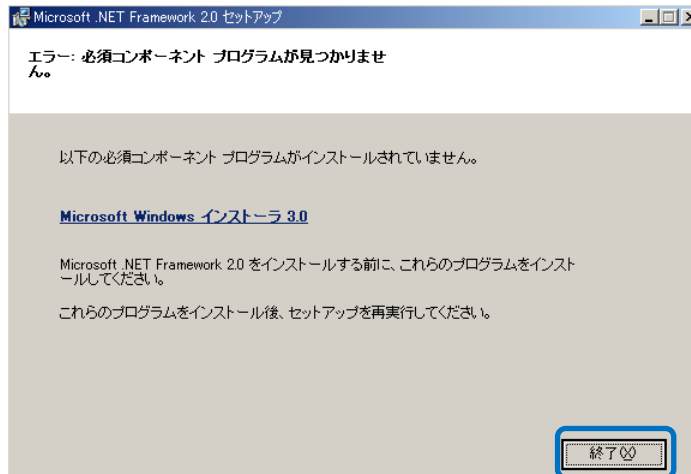


②セットアップする場合は **OK** ボタンをクリックします。



※.NET Framework 2.0 がセットアップ済みのコンピュータの場合は、上記のメッセージは表示されません。③に進んでください。

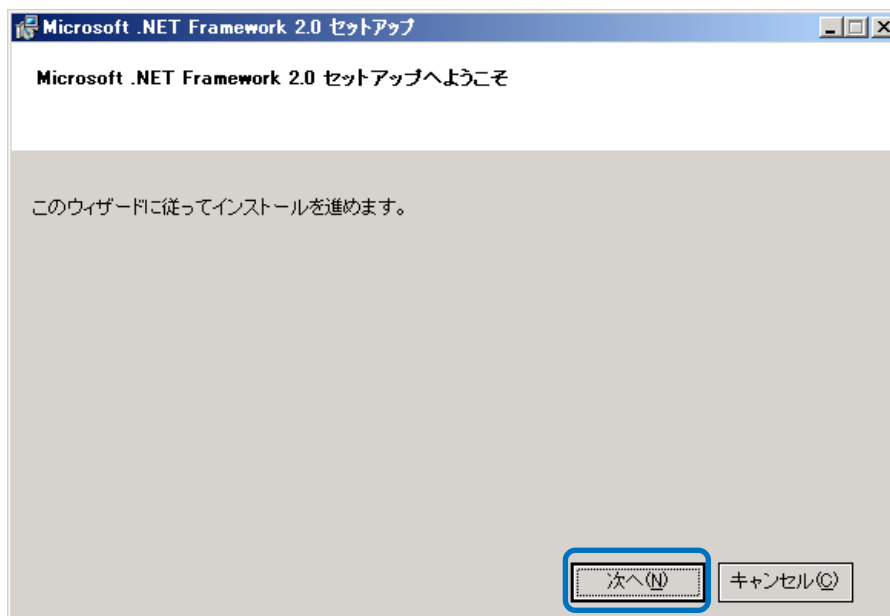
※コンピュータの環境によっては、以下のメッセージが表示される場合があります。



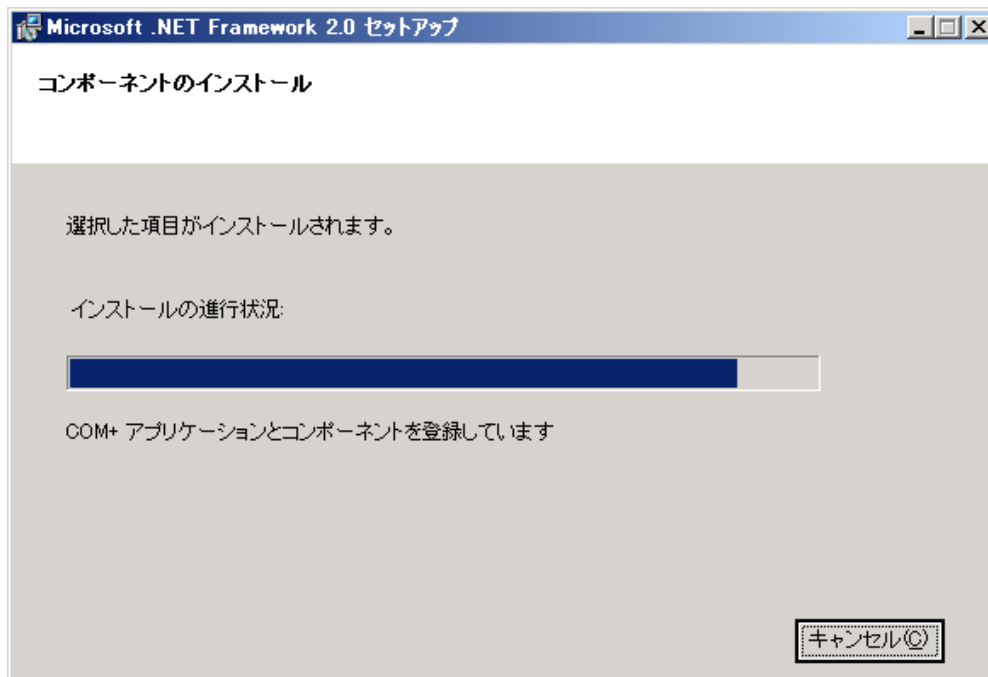
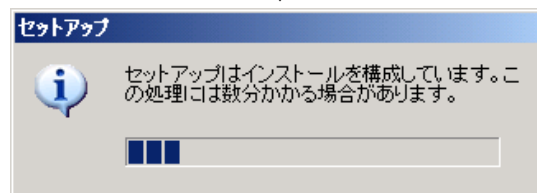
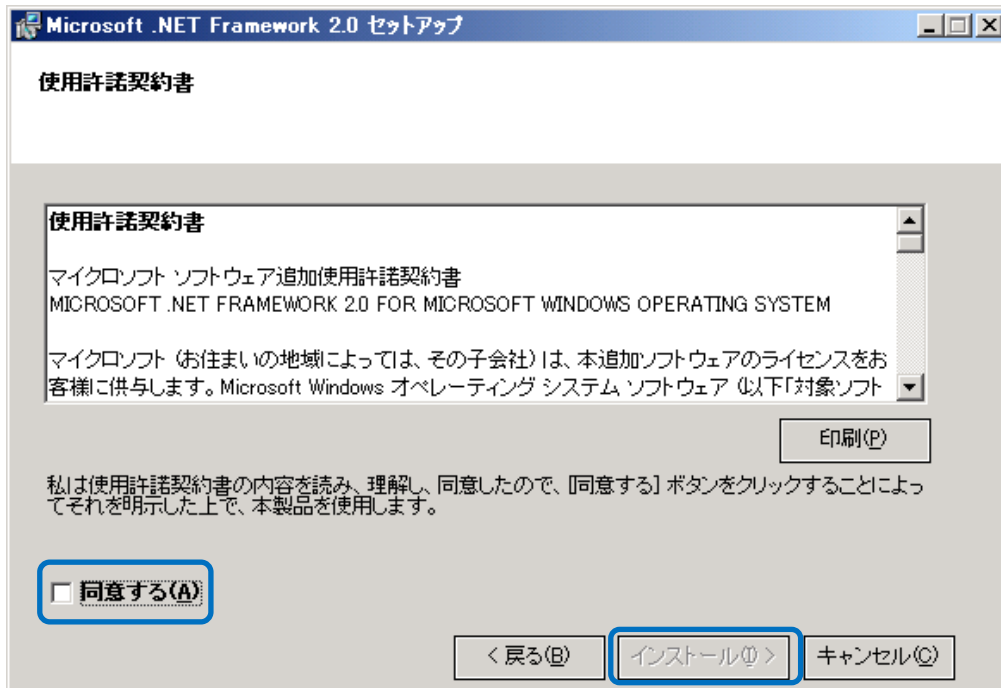
上記のメッセージが表示された場合は、[終了]ボタンをクリックし、その後続くウィザード画面についてもキャンセルして、セットアップ自体を中止してください。
その後で、解凍先フォルダ内の [OtherSetup] フォルダの [WindowsInstaller-KB893803-v2-x86.exe] を実行してください。
WindowsInstaller を最新にします。実行後はウィザードの指示に従ってセットアップを行ってください。(再起動を促すメッセージが表示される場合は再起動を行ってください。)

③.NET Framework 2.0 をセットアップします。

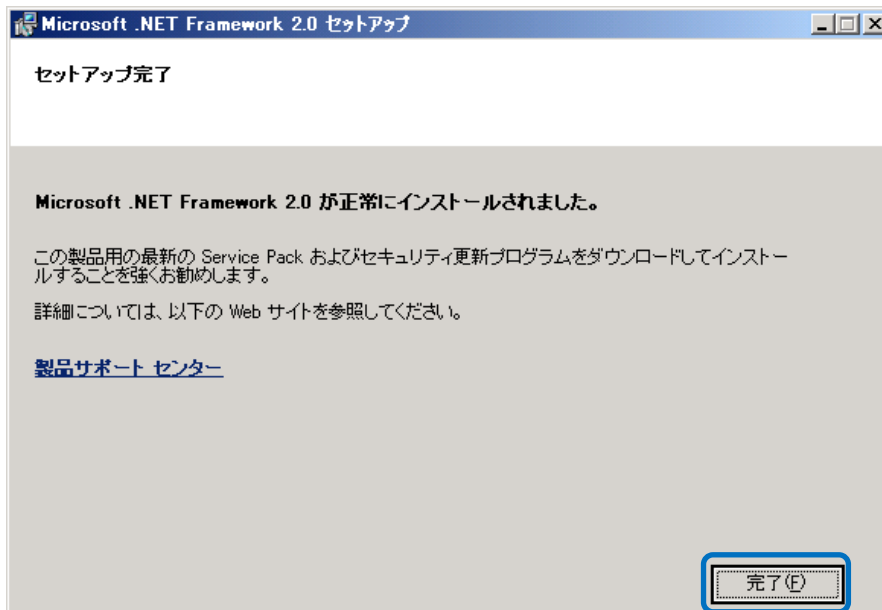
次へボタンをクリックします。



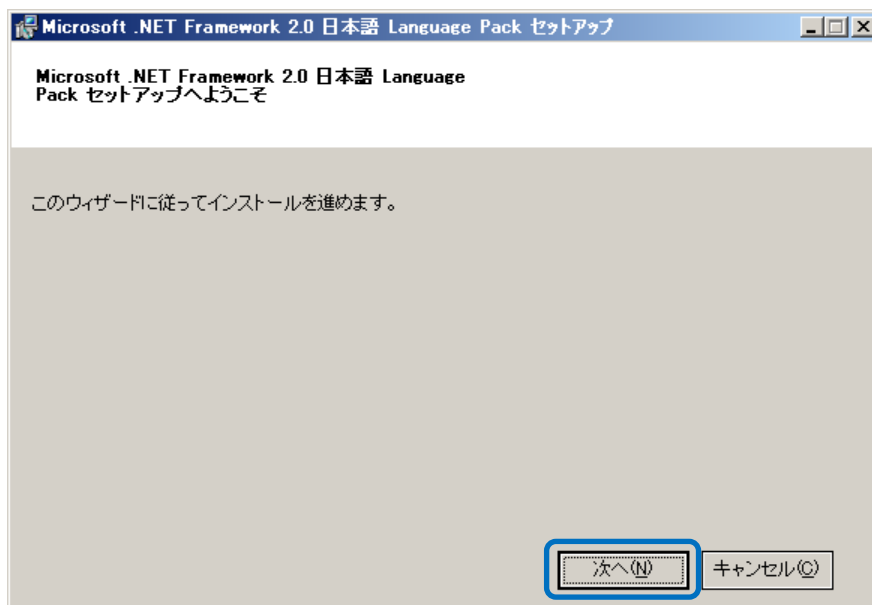
④ 「同意する」にチェックを付け、インストールボタンをクリックします。



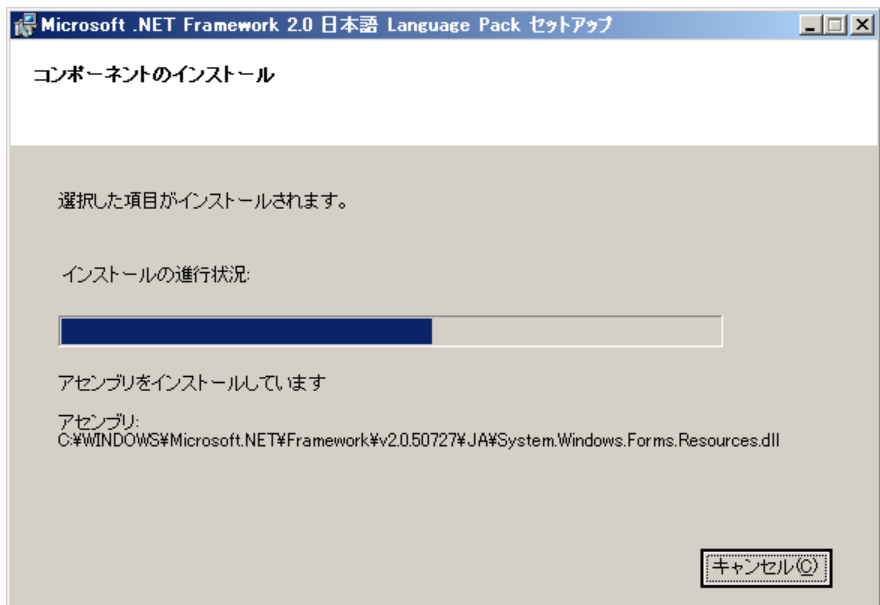
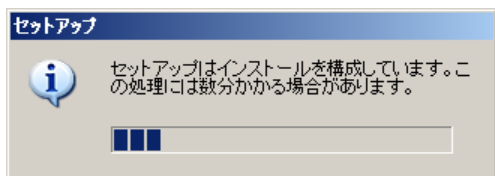
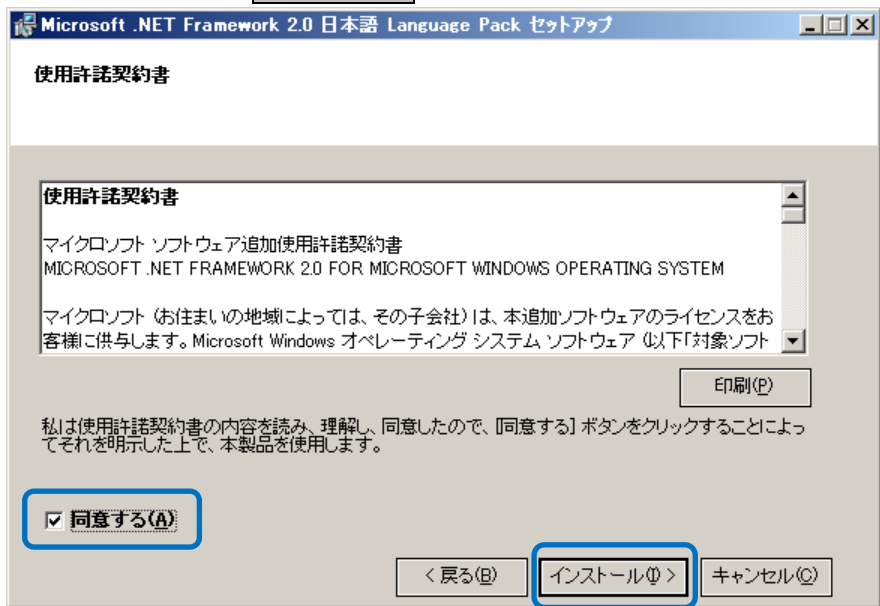
- ⑤以下の画面が表示されると、.NET Framework 2.0 のセットアップは完了です。
完了ボタンをクリックします。



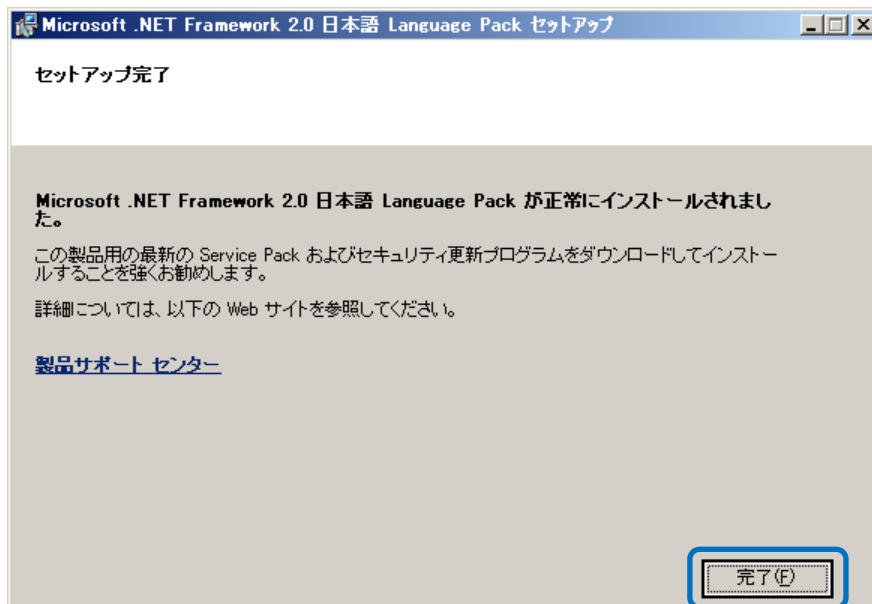
- ⑥続いて、.NET Framework 日本語 Language Pack をセットアップします。
次へボタンをクリックします。



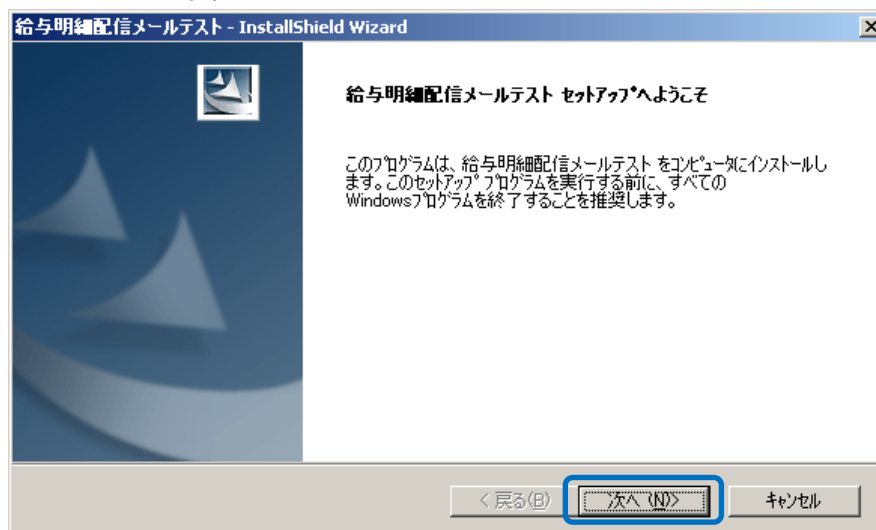
⑦ 「同意する」にチェックを付け、インストールボタンをクリックします。



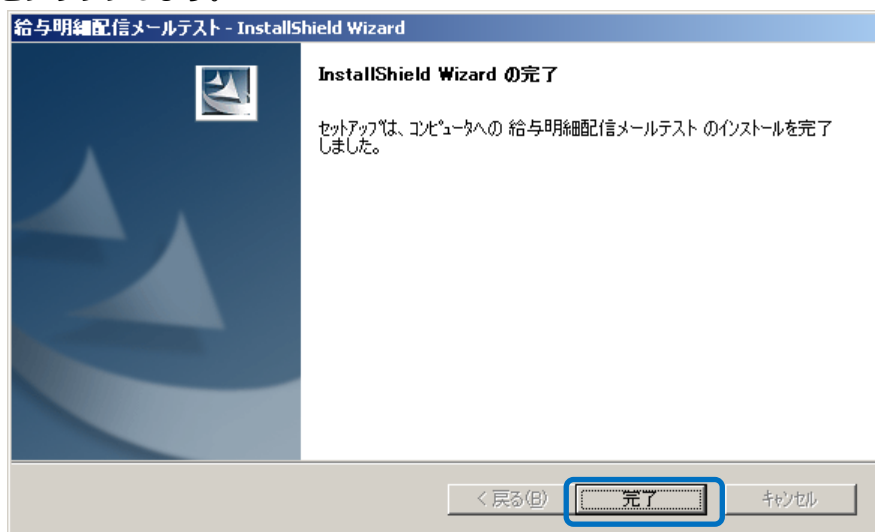
- ⑧この画面が表示されると、.NET Framework 日本語 Language Pack のセットアップは完了です。
完了ボタンをクリックします。



- ⑨給与明細配信メールテストをセットアップします。
次へボタンをクリックします。



- ⑩この画面が表示されると、給与明細配信メールテストのセットアップは完了です。
完了ボタンをクリックします。



以上でセットアップは終了です。

2) テスト送信

概 要

送信を想定するドメインに対して、必ずテスト送信してください。

操 作 方 法

1 起動する

デスクトップに作成された「奉行 メール送信テストツール」アイコンをダブルクリックします。
以下の画面が表示されます。

2 配信者名

配信者名を入力します。必須です。

3 配信元メールアドレス

配信元のメールアドレスを入力します。必須です。

4 宛先

宛先のメールアドレスを入力します。必須です。
複数のメールアドレスのテストを行う場合は、セミコロン（;）で区切ってください。

5 配信回数

配信回数を入力します。必須です。

複数のメールアドレスのテストを行う場合は、配信回数は必ず1回となります。

6 件名

件名を入力します。必須です。

7 添付ファイル

添付ファイルを指定します。**参照...**ボタンで[ファイルを開く]画面が表示されます。

セットアップフォルダ内に、給与支給明細書のサンプル PDF がありますので、ご利用ください。

パスワードは「100000」になります。

8 SMTPサーバー名

メールを配信する場合の、配信元の SMTP サーバー名を設定します。必須です。

現在使用されているメールサーバー名か、契約しているプロバイダの SMTP メールサーバー名を入力します。

9 SMTPポート

メールを配信する場合の、SMTP サーバーのポート番号を設定します。必須です。

通常のメール転送に使われるポート番号は、25 になります。

10 SMTP認証

メールを配信する場合の、SMTP サーバーで SMTP 認証をしている場合に、「する」を選択します。

「する」を選択した場合は、以下の設定を行ってください。

11 SMTP認証アカウント

SMTP 認証で「する」を選択した場合に、SMTP 認証アカウントを設定します。必須です。

12 SMTP認証パスワード

SMTP 認証で「する」を選択した場合に、SMTP 認証パスワードを設定します。必須です。

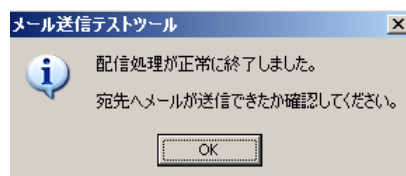
13 本文

本文を入力します。

14 送信する

入力が完了したら、**送信** ボタンをクリックします。

以下のメッセージが表示されます。



15 閉じる

終了する場合は、**閉じる** ボタンをクリックします。

【高度な設定】

初期設定で正常送信できない場合の代替方法としてご利用ください。



送信間隔・・・1通メールを送信するごとの送信間隔を秒単位で入力します。

非同期通信・・・「する」を選択すると、同時送信件数ごとに非同期的に送信します。

同時送信件数・・・1回の送信で、一定件数ごとに送信する件数を設定します。(推奨：1～100)

同時送信間隔・・・同時送信件数ごとの送信間隔を、秒単位で入力します。

暗号化接続・・・「する」を選択すると、SSLでSMTPサーバーと通信します。

(SSL通信において、Implicit SSLモードに非対応、Explicit SSLモードに対応しています。)

本文エンコード・・・メール本文のエンコードを選択します。

(正常送受信できないような特別な場合を除き、設定を変更する必要はありません。)

改行コード・・・メール本文の改行コードを選択します。

(正常送受信できないような特別な場合を除き、設定を変更する必要はありません。)

3) テスト送信時の確認事項

1) SMTP サーバーへのメール送信

[送信]ボタンを押して、正常に送信できるかをご確認ください。

- ・サーバーからの応答エラーメッセージが表示されることなく送信できるか？
- ・宛先を1つ設定し、配信回数を100回としたときに正常に配信できるか？
- ・配信対象の全ドメインを宛先に設定し、一斉に配信できるか？

※セキュリティソフトの設定等によっては、正常に配信できない場合がございます。その場合は、ネットワーク管理者へお問い合わせください。

2) メール送信後のメーラ側での受信

宛先に正しく届いたかをご確認ください。

- ・文字化けしていないか？
- ・添付ファイルが正しく開けるか？

4) メール送信テストツール FAQ

メッセージ	内容
[送信]ボタンを押したとき	
<ul style="list-style-type: none"> 宛先(または配信元アドレス)が不正です。正しいメールアドレスを入力してください。 (該当するメールアドレスの背景色が紫色になります。) 	<p>RFC に非準拠のメールアドレスを指定した場合は、不正である書式と判断し、送信することができません。</p> <p>問題が発生するメール アドレス例</p> <p>@ の直前に、ドット (.) があるメール アドレス : xxxx.@xxxxxx</p> <p>@ より前で、ドット (.) が連続しているメール アドレス : xx..xx@xxxxxx</p> <p>別のアドレスを代用してください。</p>
<ul style="list-style-type: none"> リモート名を解決できませんでした。 そのようなホストは不明です。 	<p>SMTP サーバー名が正しくない可能性があります。</p> <p>また、LAN ケーブルが抜けている可能性があります。</p> <p>再度入力しなおして確認してください。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 対象のコンピュータによって拒否されたため、接続できませんでした。 接続済みの呼び出し先が一定の時間を過ぎても正しく応答しなかったため、接続できませんでした。 	<p>ポートが正しくない可能性があります。</p> <p>また、ポートブロックがされている可能性があります。</p> <p>ネットワーク担当者に確認してください。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 確立されたホストコンピュータのソフトウェアによって中止されました。 	<p>テストツールを実行している PC のソフトウェア(アンチウイルスソフト)が原因で、メールサーバーに接続できません。</p> <p>アンチウイルスソフトを停止させるか、スキャン対象から外して、再度送信しなおしてください。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 転送接続にデータを書き込めません。 転送接続にデータを読み込めません。 既存の接続はリモートホストに強制的に切断されました。 	<p>一部のメールサーバーでは、メールサーバー側の仕様で、テストツールのデータ送信方法を正しく認識できないケースがあります。</p> <p>本文エンコードを「Quoted Printable」に変更して、再度送信しなおし、回避されるかを確認してください。</p> <p>また、改行コードを「CRLF」に変更して、再度送信しなおし、回避されるかを確認してください。</p>
<ul style="list-style-type: none"> メールボックスが使用できません。サーバーの応答: 5.7.1 Unable to relay for xxxx@xxxxxx メールボックスが使用できません。サーバーの応答: Relay denied 	<p>テストツールを実行している PC がメールサーバーに接続することを、メールサーバー側が許可していません。</p> <p>ネットワーク担当者に中継許可できるように、メールサーバー側の設定を確認してください。</p>
<ul style="list-style-type: none"> メール ヘッダーに無効な文字が見つかりました。 	<p>コンピュータ名が日本語である可能性があります。半角英数の名称に変更してください。</p>
受信後のメーラーで確認したとき	
<ul style="list-style-type: none"> ある任意のメーラーで、文章自体が添付ファイルになってしまう。 	<p>一部のメーラーでは、メーラー側の仕様で、テストツールのデータ送信方法を正しく認識できないケースがあります。</p> <p>本文エンコードを「Quoted Printable」に変更して、再度送信しなおし、回避されるかを確認してください。</p>